

令和 3 年 第二回 都 議 会 定 例 会

文 書 質 問 趣 意 書

提 出 者 星 見 て い 子

リサイクル適性[®](A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



古紙/パルプ配合率70%再生紙を使用しています
石油系溶剤を含まないインキを使用しています

質 問 事 項

- 一 東京都中学校英語スピーキングテスト事業について

一 東京都中学校英語スピーキングテスト事業について

- 1 都教育委員会は、昨年6月、新型コロナウイルス感染症拡大の下で、公立中学3年生全生徒の約8万人を対象とした東京都中学校英語スピーキングテスト事業の「確認プレテスト」実施を1年延期しましたが、今年4月21日付けで、区市町村教育委員会に対して、9月11日から11月13日の実施と説明会開催についての通知を送付し、全中学校で英語スピーキングテストの準備を進めさせています。6月現在、3回目の緊急事態宣言が延長になり、新型コロナウイルス感染拡大の終息の目途が立っていない状況です。こういう中で、英語スピーキングテストの実施は、どのような判断で決めたのかを伺います。
- 2 現場の教師から、「今回のテストの事前準備は中学校現場に丸投げで、多大な業務作業や梱包作業等、大きな負担になっている」と、生徒の安全のために学校でのコロナ対策に追われているなか、さらなる多忙な業務の押し付けに、困惑の声がでています。子どもの安全と教員の働き方改革に逆行する事態を、どう受け止めていますか。
- 3 インド型などの変異株が増加し、急速な感染拡大と子どもを含めた感染の低年齢化が心配され、学校でもクラスターが発生しています。新型コロナウイルスのワクチン接種は、大きく遅れ、子どもの接種スケジュールも示されていません。まさに国難と言われる災害時であり、未だに、生徒の安全が見通せない中で、英語スピーキングテストは中止すべきです。文部科学省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』～（2021.4.28 Ver.6）」では、レベル3地域では、「近距離で一斉に大きな声で話す活動」を挙げ、「感染症対策を講じてもお感染リスクが高い」ことから行わないように指示されています。英語スピーキングテストは、個別の回答であ

っても、一斉に話すことになり感染リスクがあります。都教育委員会は、英語スピーキングテストの中止基準をどのように設定していますか。

- 4 都教育委員会は、東京都中学校英語スピーキングテスト結果を、2022年度は都立高校入学者選抜に結果を活用する予定と発表し、保護者・教育関係者から「透明性や公平性が担保できない」と反対の声があります。都教育委員会から入手した東京都教育委員会とベネッセコーポレーションの実施協定書の別紙である実施計画（令和3年度）では、問題があると指摘してきた「採点業務における対策」が黒塗りになり内容が確認できません。個人情報ではないものが、なぜ非公開になっているのですか。
- 5 東京都中学校英語スピーキングテストの採点は、ベネッセコーポレーションの学力評価研究機構が受け持ちで、採点は、フィリピンで行われています。都教育委員会は、フィリピンに赴いて現地を確認予定と都議会で答弁しましたが、採点業務の実態を現地で確認しましたか。また、学力評価研究機構は、コロナ禍でフィリピンに渡航できない中で、どのように現地確認をしているのですか。
- 6 フィリピンで採点を行っている組織の名前と経営形態を伺います。学力評価研究機構と、この組織はどのような契約関係ですか。約8万人もの生徒の音声を採点するために、何人雇用されていますか。また、どのような雇用形態で、どのような専門性が担保されているのかを伺います。
- 7 採点基準について、保護者・教育関係者から「一律な基準では、深く考えた回答や、英語力のある生徒がユニークな回答をすると評価されないのでは」との心配の声がでています。受験者が希望すれば採点結果を開示できるのか、また、採点ミスや採点評価に疑義があった場合は、どのように対応するのかを伺います。
- 8 今回の中学校英語スピーキングテストでは、任意で生徒の顔写真等の

個人情報の登録をネット活用で行うとなっていますが、保護者から、「ベネッセは、過去に膨大な子どもの個人情報を流出させている。信頼できない」との声があります。都立高校入学者選抜に結果を活用する場合は、電子データでの登録を義務付ける予定ですか。また、都教育委員会とベネッセコーポレーション関連企業は、受験者の中学校卒業や他府県への転出で、本人の個人情報を抹消することになっていますか。

- 9 都立高校入学者選抜に、東京都中学校英語スピーキングテスト結果を活用することには、保護者・教育関係者から「試験対策ばかりに関心が向き、英語スピーキング教育がゆがめられる」「塾での訓練が優位になり、貧富の格差が入試に影響しやすくなる等、公平性に問題がでる」「民間事業者作成のテストと採点で、透明性が担保できない」の意見がでています。すでに、大学入試改革でも、同様の指摘がされ、文科省は抜本的な見直しをかけている最中です。英語スピーキングテストを都立高校入試選抜に活用すべきではありません。見解を伺います。

令和 3 年 第 二 回 都 議 会 定 例 会

星見てい子議員の文書質問に対する答弁書

質 問 事 項

一 東京都中学校英語スピーキングテスト事業について

- 1 東京都教育委員会は、昨年6月、新型コロナ感染拡大の下で、中学校英語スピーキングテスト事業の「確認プレテスト」実施を1年延期したが、今年4月、区市町村教育委員会に対して9月11日～11月13日の実施と説明会開催について通知し、準備を進めている。3回目の緊急事態宣言が延長となり、感染拡大の終息の目途が立っていない中で、本テストの実施はどのような判断で決めたのか伺う。

回 答

令和3年度は緊急事態宣言下においても、各中学校は年間指導計画に基づき、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、実際に英語を使用して自分の考えや気持ちを伝え合う活動を行っています。

英語4技能の指導の充実を都内全公立中学校において一層推進するために、中学校英語スピーキングテストを実施する準備を進めています。

実施に当たっては、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保、手指消毒、使用機器の除菌等、感染症対策を徹底します。

質 問 事 項

- 一の2 現場の教師から、生徒の安全のために学校でのコロナ対策に追われているなか、さらなる多忙な業務の押し付けに、困惑の声がでている。子どもの安全と教員の働き方改革に逆行する事態をどう受け止めているか伺う。

回 答

本事業については、教員の負担に配慮した上で実施します。具体的には、事前準備においては、申込方法や受験方法に関する動画の配信や問合せ窓口の開設、教員、生徒向けの案内冊子の配布等を行うことで、生徒の事前準備における教員の支援を最小限にする工夫をしています。

また、テスト当日には事業者がスタッフを派遣し、準備・監督、資材の梱包等を行います。

質 問 事 項

一の3 国難と言われる災害時であり、未だに生徒の安全が見通せない中で、英語スピーキングテストは中止すべきだが、都教育委員会は、英語スピーキングテストの中止基準をどのように設定しているのか伺う。

回 答

中止又は実施計画の変更については、社会状況を踏まえ、文部科学省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～」や東京都教育委員会の「新型コロナウイルス感染症対策と学校運営に関するガイドライン」等を参考にして、総合的に判断します。実施に当たっては、生徒が安心・安全な環境において受験できるよう、マスクの着用及びソーシャルディスタンスの確保に加え、イヤーマフ、マイク付きカナル型イヤホンの共用の回避、タブレット端末の消毒などの感染症対策を徹底していきます。

質 問 事 項

一の4 東京都教育委員会とベネッセコーポレーションの実施協定書の別紙である実施計画では、問題があると指摘してきた「採点業務における対策」が黒塗りになり内容が確認できない。個人情報ではないものなぜ非公開になっているのか伺う。

回 答

運営体制、問題作成、採点業務等については、テストの公正・公平な運営上の機密事項に当たるため、公表することはできません。

質 問 事 項

一の5 中学校英語スピーキングテストの採点は、ベネッセコーポレーションの学力評価研究機構が受け持ちで、採点はフィリピンで行われている。都教育委員会は、フィリピンに赴いて現地を確認予定と都議会で答弁したが、採点業務の実態を現地で確認したのか、また、学力評価研究機構は、コロナ禍でフィリピンに渡航できない中で、どのように現地確認をしているのか伺う。

回 答

新型コロナウイルス感染症の影響のため現地への訪問は行っていないが、採点が安全かつ公正・公平に行われていることをオンラインにより継続的に確認しています。引き続き、現地の状況を確認するとともに、入国が可能になり次第、現地を視察する予定です。

また、学力評価研究機構が現地の採点業務の進捗の把握や品質の監督を

オンラインにより行っていることを確認しています。

質 問 事 項

一の6 フィリピンで採点を行っている組織の名称と経営形態、学力評価研究機構とこの組織はどのような契約関係であるか伺う。約8万人もの生徒の音声を採点するために、何人雇用されているか、また、どのような雇用形態で、どのような専門性が担保されているのか伺う。

回 答

組織名と経営形態、雇用人数については、テストの公正・公平な運営上の機密事項に当たるため、公表できません。

採点は、スピーキングテスト採点に習熟した常勤の専任スタッフが、フィリピンで行います。専任スタッフは、高度な英語力を有しており、TESOL等英語指導の専門的な知識を身に付けていることを示す国際的な資格を取得しています。加えて、採点業務に関する研修を受講し、修了テストに合格した場合のみ、採点業務に従事することとしています。

質 問 事 項

一の7 受験者が希望すれば採点結果を開示できるのか、また、採点ミスや採点評価に疑義があった場合は、どのように対応するのか伺う。

回 答

テスト終了後には、スコアや到達度、学習アドバイスが記載された結果

帳票を受験した生徒一人一人に返却し、結果を全て開示します。

中学校英語スピーキングテストでは、生徒が目的・場面・状況に応じて深く考えたことや意見や事実を伝える力などを総合的に評価します。

また、生徒が採点結果の妥当性を確認できるよう、採点基準や複数の解答例を公表します。

質 問 事 項

一の 8 今回の中学校英語スピーキングテストでは、任意で生徒の顔写真等の個人情報の登録を行うとなっているが、都立高校入学者選抜に結果を活用する場合は電子データでの登録を義務付ける予定か、また、都教育委員会とベネッセコーポレーション関連企業は、受験者の中学校卒業や他府県への転出で、当人の個人情報を抹消することになっているか伺う。

回 答

生徒が入力した個人情報は、基本協定に基づき、テストの実施に必要な目的のみに使用され、法令等に従い適切に削除されます。

質 問 事 項

一の 9 英語スピーキングテストを都立高校入試選抜に活用すべきではないが、見解を伺う。

回 答

小学校及び中学校においては、学習指導要領に基づき、関心のある事柄について即興で伝え合ったり、事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったりする力を伸ばす取組が行われています。

こうした取組の成果を客観的に把握し、中学校における英語指導を更に充実させるとともに、その結果を都立高校入試に活用することで、高校における英語4技能の総合的な育成に向けた授業改善を推進していきます。

本事業を通して小・中・高校一貫した英語教育の実現を図り、引き続き「使える英語力」の育成を目指します。